

FUSO



笑顔咲く ふそう



P4 Data of FUSO Life

P6 名古屋経済大学の学生とつくる扶桑町マップ

P8 <コラム>ふそうの宝物

P10 みんなが笑顔を咲かすまち

P19 70年の歩み



笑顔咲く ふそう

70th
anniversary
Fuso Town

愛編の扶桑、
このまちが好き



自然と都市のほどよいバランスが魅力の扶桑町。
古くから人の営みがあつたこの地には、
暮らすには最適な環境がそろうています。
ここに暮らす人々はいきいきと日常を過ごし、
地域のコミュニティには活気があふれ、
みんなが満面の笑顔を咲かせています。
まちのあちこちに咲くひまわりのように、
笑顔が咲く扶桑町は、みんなを元気にしてくれます。



私が
笑顔のまち

扶桑町長
さばせ たけし
鯖瀬 武





住民の約 **8** 割が
住みよさを実感！

令和3年に実施した町民意識調査では、約8割以上
(82.5%)の人が「住み続けたい」と感じていることが
わかりました。

令和4年で

70

周年

明治39(1906)年に高雄
村、山名村、豊国村、柏森村
が合併して扶桑村となった
あと、昭和27(1952)年8月
1日に町制を施行。令和4年
で70周年を迎えます。



人口
35,012人

令和4年2月17日現在



世帯数
14,589世帯

人口は
町制施行以来増加中！

交通網のアクセスのよさから、近年は名
古屋市のベッドタウンとして、人口が増加
し続けています。



放課後も
安全・安心に過ごせる
放課後児童クラブ



4つの小学校で放課後子ども広場と放課後児童
クラブを実施。保護者も安心できる環境です。



小学校 **4** 校 中学校 **2** 校

教育環境が充実！

町内には6小中学校があり、すべての
給食を共同調理場で調理し、各
学校へ配達しています。

高校卒業まで
入院・通院は
円

子ども医療費の助成として、高
校卒業までの入院・通院が無料
です。(令和4年9月受診分から)



住民の
活動も盛ん！
住民活動団体が

59

団体



ボランティアやNPO活動、コミュニティ
活動が年々増加しており、その活動内
容は多岐にわたっています。地域の活
力向上にも貢献しています。

暮らしやすさの
ヒミツ

Data
of
FUSO Life



わたしたちが
おすすめします！

数値で見る 扶桑の暮らし

小牧ICへも車で
町内から
約

15分

国道や主要地方道など幹線道路が充実。
東名・名神高速小牧ICや名古屋高速小牧
北ICへ約15分でアクセスできます。

柏森 扶桑 木津用水

町内には
名鉄犬山線が
走り

3

つの駅がある。
南から柏森駅、扶桑駅、木津用水駅
があります。柏森駅は特急電車の停
車駅になっています。

名古屋駅まで
アクセス抜群！
柏森駅から 約

20

分

特急電車を利用すれば柏森駅から名古
屋駅まで約20分。また、中部国際空港(セ
ントレア)駅には約1時間という好アクセ
スです。

名古屋経済大学の 学生とつくる

扶桑町 マップ

扶桑町出身で名古屋経済大学の学生さんに
町内のおすすめスポットを集めてもらいました。
スマートフォンやタブレットなどで
扶桑町を体感してみてください!

協力してくれたのはこの3人



千田 正樹さん 柘 美羽さん 玉谷 駿弥さん



イオンモールも
一面ひまわり!

スマホでも
マップが
見られます!



360°VRを体感!

スマートフォンやタブ
レットでQRコードを読
み込み、上下左右に動
かして楽しめましょう。

ハートの樹



扶桑町の
シンボルです!!

RAMEN 光鶏

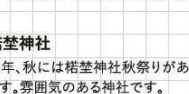
柏森駅から徒歩圏内にある、鳥
白湯がおいしい人気店です。

柘莚神社

例年、秋には柘莚神社秋祭りがあり
ます。雰囲気のある神社です。



ときわ分店
和食を食いたいならここです!



歌舞伎公演のときは
まっすぐな花道が!

360°VRを
体感!
扶桑文化会館



扶桑文化会館

歌舞伎や狂言、落語な
ど、日本の伝統芸能・文
化を中心にさまざまな舞
台公演を展開。本物
の舞台を思う存分、
鑑賞できます。



全身に太陽を
浴びられる!



扶桑町のカラーマンホール



私が
笑顔のツケ

名古屋経済大学学生
柘 美羽さん

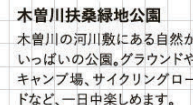


町民が集う
憩いの場!

360°VRを
体感!



木曾川扶桑
緑地公園



木曾川扶桑緑地公園
木曾川の河川敷にある自然が
いっぱい公園。グラウンドや
キャンプ場、サイクリングロ
ードなど、一日中楽しめます。



COMMUNE COFFEE WORKS

本格自家焙煎コーヒー豆が
買えます!



扶桑駅前ロータリー

冬はイルミネーションがきれいです。



扶桑町役場



JAN

ベトナムラーメンが人気!



全身に太陽を
浴びられる!



何でも
楽しもう
精神



ふそうの宝物

儀典用 端折長柄傘

ぎてんよう
つまおりながえがさ



儀式、パーティーなどで使われることが多く、そのような場では、朱色の大きな和傘がひととき華やかさを放つ姿を見ることができます。全国で儀典用端折長柄傘を製作しているのは、扶桑町山那の尾関家だけであり、町の無形文化財に指定されています。創業は江戸時代の初め頃と言われ、400年以上にわたって伝統を守り、修繕や製作が続けられています。



Interview

伝統ある扶桑町の宝を 次世代へ

儀典用端折長柄傘は、現在は主に関西地方の寺社や寺院を中心に納めています。長年にわたって培ってきた伝統の製品をここ扶桑町から届けられることは誇りであると言えます。また、小学生の見学を受け入れています。子どもたちからの素朴で素直な質問に対し、製作の難しさや仕上げることで得られる感動を伝えています。

傘職人

おげき こういち
尾関 浩一さん

江戸時代から続く 伝統工芸

骨の端を内側に折り曲げてあるのが特徴の長柄の傘——。儀典用端折長柄傘は、その昔、公家や僧侶、馬上の高貴な人などに、傘持ちの従者が後ろから差しかけたりと、広く利用されてきました。寺社や寺院の儀式・祭典を荘厳なものにするという演出効果を上げる用具でもあり、豊臣秀吉が醍醐の花見(1598年)の際に用いたという記録も残っています。近年では、茶の湯の野点や各種

ここが
ポイント



ギネス認定 世界一長い大根

扶桑町では、古くから木曾川によって肥沃な農地が育まれ、戦前から戦後にかけては蕪の生産地として多くの桑園がありました。現在は、特産品である守口大根をはじめ、にんじん、さといも、ごぼうなどの根菜類が多く作付けされています。中でも、主に漬物用となる守口大根は、扶桑町と岐阜県の木曾川流域だけで栽培されているとても希少な大根で、何ととっても特徴はその細



Interview

守り伝えたい 扶桑の伝統野菜

「あいちの伝統野菜」に選定されている守口大根は、戦後、扶桑町での栽培が盛んになりました。木曾川河畔のような適度に砂が混ざったやわらかい土質の畑が栽培に適しています。粕漬けにされた守口漬は、独特の風味と歯ごたえが楽しめます。地域特有の野菜として、これからも伝統を守っていききたいですね。

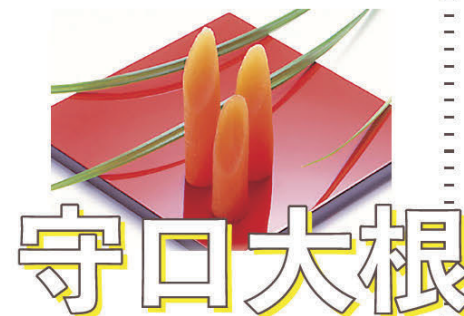
守口大根農家

あまの たかいち
天野 隆一さん



ここが
ポイント

最長
191.7センチ



もりぐちだいこん

長さ。長いもので180cm以上になるものもあります。平成25(2013)年に行われた「守口大根ギネスワールドレコーズ™町おこしin扶桑町」では、191.7cmの守口大根が「世界一長い大根」とギネスに認定されました。収穫後塩漬けし、酒粕やみりん粕に何度も漬けて変えて熟成させ、2年余りの歳月をかけて、「守口漬」ができあがります。



MORIGUCHIDAIKON

GITENYOUTUMAOIRINAGAEGASA

幸せな暮らしを築くまちづくりに取り組み、
あらゆるライフステージで輝けるまち

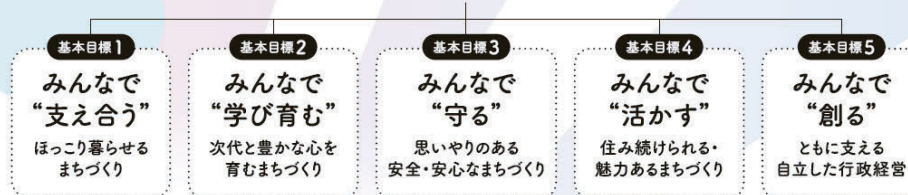
扶桑町は、中心部は幹線道路が走る住宅地で、郊外には自然が広がる、ちょうどいい“田舎”です。名古屋市へのアクセスのよさから、ベッドタウンとして人口が年々増加しています。近い将来には人口減少も予想されていますが、扶桑町に住むみんなが、まちに誇りと愛着を持つことで、これからも住み続けたいまちとして愛され続け

ると考えています。扶桑町では、町民の安全で安心な暮らしを実現し、末長い幸せな生活を維持するために、行政や町民が協働してまちづくりの計画を策定しています。「第5次扶桑町総合計画」は、少子高齢化や高度情報化の進展、災害リスクをはじめ自然環境問題の深刻化といった社会の変化にも対応できるように考えられたまちづくりの指針です。あらゆる年代の人々が幸せに暮らし、笑顔を開かせることができる扶桑町を、次世代へ継承していきます。

第5次扶桑町総合計画

まちづくりの視点

「みんなの笑顔がかがやくまち 扶桑町」



ライフステージ
別に見る

みんなが笑顔を咲かすまち

子どもたちがのびのび元気に駆け回り、地域を支えるおとながいる。
みんなの笑顔が花開く、そんなまちづくりを進めています。



私が
笑顔のツケ

名古屋経済大学学生
たまに しゅんや
玉谷 駿弥さん



私が
笑顔のツケ

名古屋経済大学学生
せんた まさき
千田 正樹さん



子育て支援センター

心と体、子育てに関する相談や情報提供を行い、妊娠から子育て期をサポートします。

安心して子どもを育てられるまちへ 地域の子育てを支援

扶桑町では、人と人とのつながりを通じて、子どもがのびのびと育ち、子育て家庭が安心して子どもを育てられるまちをめざしています。健診や相談事業など、妊娠から出産、子育て期と切れ目のない子育て支援を行っています。家族の就労形態の多様化にともなう保育の充実に努める他、核家族化の進展などによる子育ての負担や不安を払拭するため、地域における子育て支援の充実を図ります。



出産から子育て期の 切れ目のないサポート

子育て



1 おもちゃ図書館

総合福祉センター内に、未就学児を対象としたおもちゃ図書館があります。親子で手作りおもちゃや布絵本などで遊べます。

2 赤ちゃん絵本プレゼント事業

社会福祉協議会では、想像力や豊かな心が育まれることを願い、扶桑町在住の1歳未満の子どもに絵本をプレゼントしています。



まち全体で見守る 子どもの学び

教育



時代の流れをくみながら 生きる力を育む教育

次代を担う子どもたちの豊かな心を育む教育環境を整えています。急速に進むデジタル化に対応し、小中学校では情報端末を活用した教育活動を行っています。また、コミュニティスクールや地域学校協働活動を展開し、地域とともにある開かれた学校をめざしています。放課後児童クラブや親が共働きでなくても利用できる放課後子ども広場に加え、令和5年度には(仮称)多機能児童館を新設。多くの人との出会いが、生きる力と扶桑町を誇りに思う心を育てます。

Interview

安心して楽しく過ごせる 「居場所づくり」を続けます

我先に学校での出来事を話してくれたり、昨日までできなかったことができたりと、元気な子どもたちに囲まれた楽しい毎日です。友達の気持ちに寄り添える優しさも育まれています。放課後児童クラブは、子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる場所であり、保護者の方とも成長を共有できる笑顔の場所です。



GIGAスクール構想

令和元年から国で進められている改革です。扶桑町では一人一台情報端末を整備し、子どもたちは学習や学校生活に活用しています。

放課後児童クラブ

すべての小学校の敷地内に建物があります。学校との連携もとりやすく、校内のグラウンドでも遊べます。



私が
笑顔の

放課後児童クラブ支援員
いけはら ようこ
池原 洋子さん





ほりえ
堀江さん家族

扶桑町に家を建てたことを機に移住して8年目。小学生を筆頭に子ども5人の7人家族。



子どもたちにも、扶桑町の魅力を伝えていきたい

扶桑町って、いいまちなんです

扶桑町の魅力って何もないと言われがちなんですけど、少し出れば何でもあるんですよ。買い物は町内で完結できるし、観光地もあって名古屋も近い。住民活動は活気があって、町を盛り上げたい、扶桑町を好きだと思っている人が多いんです。ご近所さんは高齢の方が多くいますが、高齢者同士のコミュニティも盛んなようです。お野菜をくださったり、声をかけてくれることもあって優しい。こんなにいいまちの知名度が低いのは、もったいないなと思っています。

子育てを支える場所がたくさん

子どもを地域全体で見守ってくれていますね。「何かあったら、お隣さんの家に」と言えるほどです。また、子育てサークルも豊富で、親同士のコミュニティがしやすいですね。我が家も、第一子の時に知り合った親同士で仲良くしています。放課後児童クラブは6年生まで利用できます。小学校の敷地内に新しい施設ができたので、移動の必要がなく設備も整っていて安心です。子どもたちもこのまちに住み続けたいと思うよう、まちの魅力を伝えていきたいと思っています。



くまざき
熊崎さん家族

実家の近くで家を購入して6年目。小学生と保育園児の子ども2人の4人家族。



住みやすいから、ずっと暮らしていきたいまち

便利でちょうどいい田舎

今は町内の実家近くに住んでいます。扶桑町は適度に自然を感じられるのに、便利な場所なんです。都市部に通勤もでき、買い物もショッピングセンターで何でもそろいます。近くを歩いていると近所の方が声をかけてくれるなど、安心して暮らせる「ちょうどいい田舎」という印象です。上の子が小学生ですが、だいたい一学年に2クラスあり、保育園と幼稚園の子どもが集まるので、新しいお友達もできました。扶桑町には、放課後児童クラブだけでなく、共働きでなくても利用できる

「放課後子ども広場」という居場所が4小学校にあるので、上の子を行かせています。小学2年生まで利用でき、宿題をしたり、遊んだりして過ごしているようです。

休みの日も町内で過ごせます

休日にはよく図書館を利用しています。読み聞かせがあったり、子どもが自分で本を選んで取れるところがお気に入り。今後は「ウォーキング大会」など、地域のイベントにももっと参加したいです。

全小学校内に 放課後児童クラブ館を 整備

「放課後児童クラブ館」や「放課後子ども広場」があり、子どもたちの放課後も安心。先生に「おかえり」と迎えられ、勉強や友達との関わりを通して成長します。



(仮称)多機能児童館

扶桑中学校隣接地に、令和5年4月オープンの児童館を建設中です。災害発生時は福祉避難所としても機能します。





人々のすぐそばで 活気あふれる文化活動

文化 /

よさこいチーム「笑舞」

中学生から社会人まで幅広い年齢層のメンバーが集う鳴子踊りチーム。夏の「にっぽんど真ん中祭り」を中心に活動しています。「会場一体！笑顔とパワーで心の底から感動を!!」をコンセプトに明るくバウフルなチームです。ご注目ください。



ふそう文化会館夢応援団

扶桑文化会館の運営を支援するボランティア団体で、チケットもぎりやロビー・客席の案内、自主企画事業などを行っています。



スポーツフェスティバル

毎年10月に、行政と町民が一体となって実施されるスポーツフェスティバルが開催されます。



スポーツや文化の推進に取り組み 行政と町民が一体に

誰もが生涯を通じて知識や経験、豊かな心を育めるまちをめざす扶桑町には、個人や団体の活動の場が多数あります。よさこいチームや文化会館の運営をサポートする団体などさまざまな、文化の香り高いまちです。

扶桑町がめざす「協働」とは、 住民の活動や気持ちを広げること

扶桑町では、町がやるべきことは町で、住民ができることは住民という考え方を大切に、サポートすることを「協働」と考えています。公共サービスの充実はもちろん、活動の拠点づくりや広報により、住民活動の活性化を図っています。住民と行政がお互いを尊重し協力しながら、協働によるまちづくりを推進しています。

防災・減災

各地区の自主防災組織に向けた防災訓練マニュアルや、地震対策への補助金交付などを通して、町民の防災意識を高めています。



緑化推進事業

次世代に自然の恩恵を残すため、屋上緑化や生垣設置などを進めています。一定以上の緑化推進には補助金も交付しています。



手と手を取り合う 住民のまちづくり

協働



Interview

扶桑町の魅力を広げるために、
私にできることをします

総合計画の策定にあたり、町民会議に参画し、その後に住民活動の一環として「でららぶ」に出会いました。今は子育て中のため、皆さんの提案イベントに参加する形で関わっています。扶桑町はのどかで自然が多く、人が温かい。就学などで町を離れても戻りたいと思ってもらえるよう、移住者や子どもたちが愛着を持てる魅力づくりをしていきたいです。

私が
笑顔の

でららぶ♡FUSO会員
きやむら ただし
木矢村 匡さん



住民活動支援センター (ぶらねっと扶桑) でららぶ♡FUSO

住民活動の拠点、ぶらねっと扶桑から誕生した意見交換の場。ワークショップなどを通してまちづくりの担い手が育っています。



NPO法人わっと楽しくスポーツふそう

住民主体のスポーツクラブとして平成24(2012)年に活動を開始。指導や運営サポートに至るまで地域住民の力を活かしたコミュニティです。



高齢になっても住み慣れた地域で 日常生活を営めるまちへ

扶桑町の高齢化率は、令和2年現在26・4%。今後、高齢化が進むと、その割合はさらに上がり、要介護・要支援認定者も増えていきます。今後は、福祉サービスの提供はもちろん、高齢者介護を支える人材確保にも努めます。認知症への理解や相談事業の充実、高齢者の豊富な経験や技術を活かした社会参加・生きがいづくりなど、住み慣れた地域で自立した日常生活を送れるよう支援します。



みんなが
住み続けたい
いきいき輝けるまち



1 扶桑町スポーツ協会

11団体に約1,000人が所属している協会。幅広い年代の方々が、汗を流して元気に活躍しています。

2 ボランティア団体「笑夢」

「性別・年齢・能力に関わらず、笑顔で夢ある活動を楽しむ」ボランティア団体。活動はダンスや創作など多岐にわたります。

70年の あゆみ



ひまわり

かし



- 昭和27年 ● 山名保育園開設
● 高雄保育園開設
● 町制施行
- 昭和34年 ● 江南扶桑線(県道一宮犬山線)道路改良工事完了
- 昭和36年 ● 愛北衛生処理組合設立
- 昭和37年 ● 扶桑土地改良区発足
- 昭和39年 ● 長泉塚古墳、愛知県文化財に指定
- 昭和42年 1 役場新庁舎竣工
● 江南丹羽衛生組合設立
- 昭和44年 ● 高雄西保育園開設
- 昭和45年 ● 学校給食共同調理場開設
- 昭和46年 ● 斎藤保育園開設
- 昭和47年 ● 尾張北部水道企業団設立
● 町制施行20周年記念事業
● 総合グラウンド開設
- 昭和49年 ● 老人憩の家開設
● 高雄南保育園開設
- 昭和50年 ● 丹羽消防組合設立
- 昭和51年 ● 柏森南保育園開設
- 昭和53年 ● 端折傘(第13代)愛知県無形文化財指定
- 昭和54年 ● 第1次扶桑町総合計画策定
● 扶桑東小学校開校
- 昭和55年 ● 保健センター開設
2 中央公民館開設
● 役場庁舎増改築竣工
- 昭和57年 ● 町制施行30周年記念事業
● 扶桑北中学校開校
- 昭和58年 3 総合体育館開設
- 昭和59年 ● 社会福祉協議会法人化
- 昭和60年 ● 非核平和宣言
- 昭和61年 ● サングリーンハウス開設
● 第2次扶桑町総合計画策定
- 昭和62年 4 扶桑町図書館開設
- 平成2年 ● 高雄シルバーハウス開設
- 平成4年 ● 町制施行40周年記念事業
● 町民憲章制定
● 地球環境保護宣言

- 平成5年 ● 特別養護老人ホーム扶桑苑開設
- 端折傘(第14代)扶桑町無形文化財指定
- 平成6年 5 第49回国民体育大会「わかしゃち国体」開催
● 名鉄扶桑駅竣工
- 平成7年 6 扶桑文化会館開設
- 平成8年 ● 第3次扶桑町総合計画策定
● 丹羽消防署扶桑出張所開設
- 平成12年 7 総合福祉センター開設
- 平成13年 ● 扶桑町ホームページ開設
- 平成14年 ● 町制施行50周年記念事業
- 平成17年 ● 2005年愛知万博で「扶桑町の日」開催
- 平成18年 ● 「扶桑」誕生100年
- 平成19年 ● 名鉄柏森駅竣工
- 平成20年 ● 第4次扶桑町総合計画策定
- 平成23年 ● 新学校給食共同調理場開設
- 平成24年 ● 町制施行60周年記念事業
- 平成27年 ● 扶桑町住民活動支援センター「ぶらねっと扶桑」開設
- 平成28年 ● 扶桑町人ロビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 平成30年 ● 第5次扶桑町総合計画策定
- 平成31年 ● 放課後児童クラブ館が町内4小学校内の敷地に開所
- 令和4年 ● 町制施行70周年記念事業





大きい笑顔、やさしい明日へ